

薬の飲ませ方

薬の飲ませ方はいくつかあります。一番良い方法というものはありません。試してみながら子どもにあった方法を探してみてください。

赤ちゃんの場合

※ 口の中に粉薬を付ける方法

粉薬を少量の湯冷ましなどで「だんご状」にして保護者のきれいに洗った指先につけて、子どものほほの内側や上あごにつけて水分を与えて飲み込ませ、その後ミルクを与える。



※ その他の方法

スプーンに水薬や団子状にした粉薬をたらして、子どもの喉の奥まで入れて飲み込ませ、その後にミルクを与える。

スプーンは柔らかいタイプのものにする。他には「スポイト」や「おちょこ」などでも良い。



※ 水薬の場合は哺乳瓶の「乳首」の中にたらしてすわせ、その後にミルクを与える方法もあります。

<注意すること>

一回分のミルクに混ぜる方法は、ミルクの味が変わって全部飲まなかったり、ミルク嫌いになることがあるので、おすすめできません。

幼児の場合

水薬も粉薬もなるべく他のものに溶かさずに、そのまま与え、水だけで飲めるようにしましょう。赤ちゃんと違い、飲み物などに混ぜても味がすぐに分かります。（ジュースやスポーツドリンクに混ぜた場合、苦味が増す場合があります。）又、泣き叫んでいる時は、吐き出すこともあるので飲ませないようにしましょう。

※ 水薬はそのまま、粉薬は一回分を湯冷ましなどに溶かしてから冷蔵庫に入れて冷やしておくか、冷凍庫に入れてシャーベット状にすると飲みやすい場合があります